

令和4年度(2022年度)第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)5月21日(土)10:00~11:30
場所	みなみ野小学校 2階家庭科室
出席者	参加者：大淵、大山、川崎、塩沢、野牧、橋山、平野、山城 高齢者あんしん相談センター片倉：相馬 はちまるサポート由井：田辺 八王子地域 PAL-ETTE：打越、守屋 未来デザイン室：野田、橋本
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度(2022年度)第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議資料 みなみ野中学校区地域カルテ 長房中学校区地域づくり推進計画(概要版) 川口中学校区地域づくり推進計画(概要版)

1 開会

未来デザイン室から挨拶。

2 オリエンテーション

本日の検討内容の確認。

3 議題

(1) 地域カルテについて

ア 取りまとめ過程の確認

会議資料をもとに、第4回「みなみ野中学校区地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)」において検討したみなみ野中学校区地域カルテ(以下「カルテ」という。)について、掲載承諾が必要な団体等への確認、掲載内容に関連する関係所管課への確認、他の中学校区の掲載内容を踏まえた最終調整を行ったうえで取りまとめをしたこと、各成果品の一般公開は、広報はちおうじ(6月15日号)からとなること、みなみ野中学校区に転入してくる方へはカルテを別途配布することを説明した。

⇒質問・意見なし

イ 配布先及び配布場所

会議資料をもとに、配布先はカルテの作成に関わっていただいた方に対し紙媒体で配布すること、配布場所は紙媒体での配布を絞ったため、誰でも地域づくりに興味を持った方が入手しやすい身近な施設で配布すること、配布場所のなかでも、公共施設については、他の中学校区で作成した各成果品すべてを配布することを説明した。

⇒質問・意見なし

ウ 意見交換【テーマ】電子媒体での発信方法

会議資料をもとに、紙媒体での配布を残しつつ、地域に関わる多くの方々に電子媒体で周知するためにはどのような手法があるか。また、今後どのような手法があれば電子媒体での情報発信・受信がしやすくなるかについて意見交換を行った。主な内容は、以下のとおり。(詳細は、令和4年度(2022年度)第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容)

<主な意見交換内容>

- ・ 限られた団体が情報を発信しても、末端の人まで届かない。公平に情報が届くよう、八王子市がやっている防災・防犯メールのように、市から地域づくりの情報をメールで発信するのはどうか。その際、ほしい情報を選択して受け取れるようにできると良いと思う。
- ・ 子ども家庭支援センターなど、市の施設に二次元コードを記載したカードなどを置くのはどうか。
 - 世代に関わらず使用する、薬局に置くのも良いのではないか。(参加者)
 - 高齢者は二次元コードを読み込むのが難しい人もいるので、市に読み込み方法を聞けるよう、問い合わせ先を記載しておく方が良いのではないか。また、民生委員に周知の協力をお願いするのも良い。(参加者)
- ・ 転入や転出の時期に、市の広報でカルテの周知をするのはどうか。
 - 広報で周知する際は、カルテという言葉だけではイメージがつかないので、表紙など、実際のカルテの画像と一緒に掲載すると、見たいと思ってもらえるのではないか。(参加者)
- ・ 推進会議の参加者が所属する団体のホームページにリンクを貼るのはどうか。国際協会はホームページを持っているので、リンクを貼ることが可能だと思う。
- ・ 70代以上が電子媒体を活用するのは難しい。
 - 電子媒体を活用できるように、スマートフォンなどの操作方法を学ぶ教室が必要か。(未来デザイン室)
 - 必要だと思う。情報の受け手が、電子媒体を入手する態勢が整っていない。(参加者)
 - パソコンやスマートフォンの操作が苦手な方は、皆さんの周りに多いか。(PAL-ETTE)
 - 周りの70代から80代は、使えない人が多い。(参加者)
 - 地域の情報に興味があるのは、高齢者が多い。しかし、高齢者は平均的に電子媒体を活用できる人が少ない。そういったことを意識して発信方法を考える必要がある。(参加者)
- ・ 「スマートフォンの使い方を習える」というだけでは、講座を開催しても参加者は集まらない。「あなたの地域の情報は、カルテを見ればわかります。そのカルテをスマートフォンを使って見てください」という呼び掛けをすると、興味を持って参加をする人がいるのでは。そうすると、カルテができたこと、地域情報、スマートフォンの操作方法という3つのことを掛け合わせて知ることができる。
 - スマートフォン等について、高齢者が操作方法を学びながら興味を持ってもらうため、地域のブロックごとに研修をするのはどうか。(参加者)
 - 地域の企業や高齢者あんしん相談センター等と連携し、パソコン機材の貸出しとともに、操作方法もあわせて教えてもらえるような取組があると良いのでは。(参加者)
 - 普段友人と電話でやり取りをしている高齢者に、友人同士で参加してもらい、メールやラインを使えば、時間を短縮しながら、楽しむことができるというのを知ってもらうのも良いのでは。(参加者)
 - 勉強をするというスタンスではなく、何か興味をひくものと一緒に学んでみるというぐらいが良い。(参加者)
- 本項目について様々な御意見をいただいた。今後、関係団体のホームページにリンクを貼れるよう未来デザイン室から働きかけをしていくとともに、情報の受け手が必要な情報を入手できるような取組を考えていきたい。(未来デザイン室)

(2) 令和4年度(2022年度)における地域づくり推進会議の運用について

ア 本市が目指す地域づくりとは

会議資料をもとに、本市が目指す地域づくりとは、「共に支えあい、担いあう地域社会の実現」、「地域のすべての力を最大限に活用」、「地域における自立的・主体的な課題への対応」、「全市規模の施策を地域単位への施策へ転換」を実現させていくこと、これらを実現するためには、各中学校区に設置する推進会議の運営体制や方法などを検証する必要があると、令和3年度(2021年度)から長房・川口中学校区をモデルとして、また他の地区に先行してみなみ野・南大沢で取り組んでいること、市役所も地域づくりの実現に向けて変えていく必要があることを説明した。

⇒質問・意見なし

イ 令和4年度(2022年度)における地域づくり推進会議の目標

会議資料をもとに、令和4年度(2022年度)における推進会議の目標は、「地域の将来ビジョンの決定」、「アクションプランの項目決定」、「地域で主体的に会議運営できる体制案の構築」であることを説明した。

⇒質問・意見なし

ウ 各団体の参加者変更に伴う手続き及び推進会議への関わり方

会議資料をもとに、役員改選等に伴い参加者を変更する場合は、再度団体の代表者から推薦書の提出をお願いしたいこと、参加者が変更となったとしても、引き続き、推進会議に関わっていただきたいことを説明した。

⇒質問・意見なし

エ 意見交換【テーマ】令和4年度(2022年度)の地域づくり参加者について

地域づくり推進会議において地域全体のことを議論するにあたり、どのような方の参加が必要か、意見交換を行った。主な内容は、以下のとおり。(詳細は、令和4年度(2022年度)第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容)

<主な意見交換内容>

- ・八王子には多くの外国籍の人がいる。将来的に、多文化共生社会を実現していくうえでも外国人の参加者は必要だと思う。
- ・町会の方に参加をしていただきたい。現在、子どもの見守り活動を保護者がやっているが、町会の方に推進会議に参加をしていただくことで、活動の連携をしていきたい。そうすることで、見守り活動をしている保護者の負担軽減とともに地域のつながりも生まれると思う。
 - 現在、推進会議には町会自治会連合会からの代表者に参加していただいている。今後、作成する地域別推進計画に「地域全体で見守り活動をしていく」という内容を記載することで、連合会を通じて各町会にお話しいただくことも可能ではないか。(未来デザイン室)
 - みなみ野四丁目では、散歩を通じた地域全体の見守り活動を行っている。担当を決めて見守りをするやり方だと、責任問題も生じるので、お願いするのは難しい。(参加者)
 - それぞれの町会ごとにやり方があるのではないかと。今後地域別推進計画のアクションプランを考えていくうえでも、皆さんから様々な意見を出し合っていただきたい。(PAL-ETTE)
- ・カルテの作成に当たっては、放課後子ども教室などの学校情報を掲載していることから、

個別に校長・副校長先生に内容を共有・確認させていただいた。今後、地域のことを話していくうえで、子どもに関わる部分が必ず出てくるので、普段子どもたちと接している先生たちの想いを聞くため、毎回でなくても学校の先生に参加してほしい。

→学校の現状などを共有するため、先生との意見交換の場は必要だと思う（未来デザイン室）

→学校関係を含め、地域活動でいくつか役割を担っており、推進会議の活動が増えていくと負担が大きい。そうした意味でも、先生から意見を聞く場を設けてもらえると、負担が軽減される。（参加者）

- ・地域全体のことを考える際には、あらゆる分野の人に参加していただき、意見を聞く必要がある。
 - 今後、地域別推進計画を作成していくに当たり、様々な人から意見をいただく機会としてワークショップやフォーラムを開催する予定。このほかにも、地域の皆さんの幅広い意見を聞く方法を皆さんと一緒に検討していきたい。（未来デザイン室）
- ・一つの分野から一人が参加するとなると、その人に負担がかかってしまう。複数の人を参加者として登録し、交代で参加できるような体制にしたら良いのではないか。
 - 今年度、推進会議の体制についても皆さんと検討していくので、その際に交代制での参加についてもご意見をいただきたい。（未来デザイン室）
- ・子育て世代の意見も聞いてみたい。
- 様々な御意見をいただいた。今後、アクションプランを進めていくなかでどのような人が必要か、どういう体制なら皆さんが推進会議に参加しやすいかということについて、引き続き、検討させていただきたい。（未来デザイン室）

4 意見・情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

参加者に共有したい情報をお話いただきたい旨説明。内容は、以下のとおり。

<情報交換の内容>

- ・みなみ野君田小学校で、6月4日（土）に午前10時から花の種をまく。放課後子ども教室の取組の一環で、地域の子どもや大人が参加する予定。この取組は、9月のアルツハイマー月間にあわせ、シンボルカラーとなっているオレンジの花の種を植えるもの。興味があればぜひ当日ご参加いただきたい。（参加者）
- ・みなみ野小学校の放課後子ども教室で、6月8日（水）午後1時に1年生歓迎会を行う。内容は、読み聞かせやクイズなどを予定しており、普段子ども達がこういう風に遊んでいるのを見ていただく機会としている。興味があれば、ぜひ来ていただきたい。また、ボランティアでお手伝いをしていただける方がいたら、お申し出いただきたい。（参加者）
- ・日時と場所を調整中だが、6月の2週目から7月の1週目の間の水曜日に、東京工科大学の学生と連携し、高齢者向けにスマートフォンの使い方講座を実施する予定。興味がある方はお申し出いただきたい。（はちまるサポート由井）
 - チラシが出来次第、未来デザイン室から参加者にメールもしくは郵送で情報提供する。（未来デザイン室）

閉会

令和4年度(2022年度)における推進会議の日時について、地域全体の行事・イベントと重複していないかの確認とともに、第2回推進会議全体会の日時を伝えた。なお、重複している場合は、令和4年(2022年)5月27日(金)までに事務局へ連絡するように依頼した。

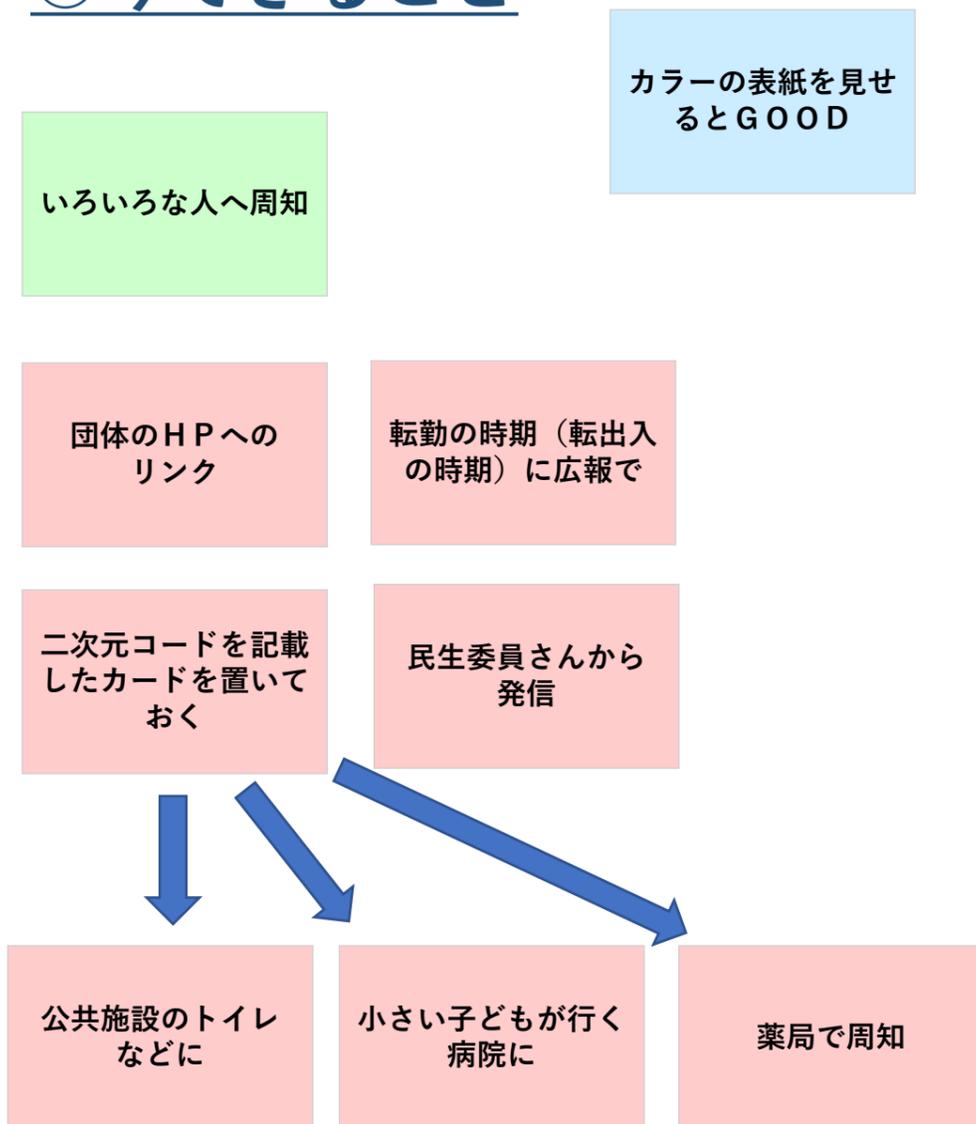
○第2回：令和4年(2022年)7月31日(日)9:30~12:00 みなみ野小学校家庭科室(予定)

以上

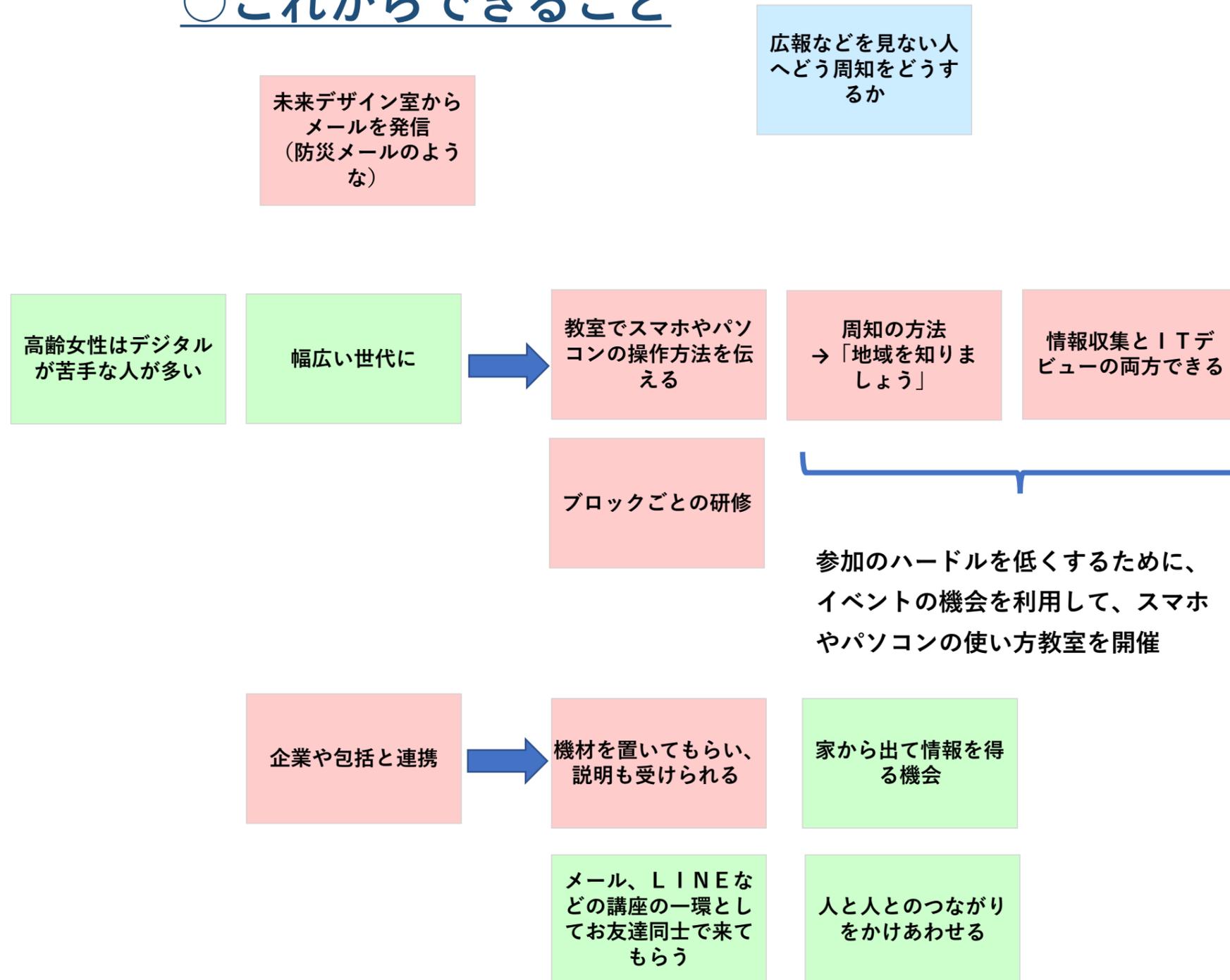
令和4年度（2022年度）第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

電子媒体での発信方法

○今できること



○これからできること



令和4年度（2022年度）第1回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

推進会議に参加してもらいたい方（分野）

